



千畑小学校 学校報 第34号 2019.12.23

学校教育目標

夢ここに つながる心 輝くひとみ

“ミズモの日”「ノー電子メディアチャレンジデー」への ご協力ありがとうございました。

保護者・ご家族の皆様には、毎週水曜日の“ミズモの日”「ノー電子メディアチャレンジデー」の取組にご協力いただき、ありがとうございます。また、11月末までのチャレンジカードを提出くださりありがとうございます。今年度は、取組のめあてを各家庭で話し合っただけで決めていただきました。また、カードへの記入の仕方も変更し、取り組んだ時間帯を記入してもらうようにしました。

最後にコメントを書いていたいただきましたが、そこには、子供たちの様子や各家庭の取組に対する思い、これから大切にしていきたいと考えていかなければならないことなどがたくさん書かれていました。ぜひ、今後の参考にさせていただければと思います。

◆ふりかえりカードから

【こんな過ごし方をしました。】

- ・家族での会話の時間が増えた。
- ・ゆっくり話ができる。
- ・落ち着いて話をきいてくれる。
- ・一緒に本を読んだり勉強したりしてコミュニケーションをとるようにしている。
- ・会話が増え楽しい時間を過ごし、内容のある時間を過ごせた。
- ・チャレンジの回数を重ねることで、テレビを見る時間が減った。
- ・ペットの世話や絵をかいたりしている。
- ・見られなくても兄弟と一緒に遊んでいた。
- ・子供と今日のことを教え合ったり、本の読み合いっこをしたりしている。
- ・テレビやゲームに時間をとられず他のことができてよかった。
- ・家族みんなで声をかけ合い取り組むことができた。
- ・学校でのことや友達とあそんだことを話してくれたので、子供の気持ちがとてもよく分かった。
- ・みんなで朝食をとり触れ合うことができた。
- ・ゲームをする時間やタイミングを相談しながらやっている。
- ・ノーメディアのときは、いつもよりニュースを真剣にみていた。
- ・だらだら見ないで、ニュースや番組を家族で見て会話をしていた。
- ・ゲームも一人ではなく家族で楽しんだ。

【子供たちの様子は・・・】

- ・子供が家族に呼びかけ自主的に取り組んでいる。
- ・習慣になりつつある。
- ・声をかけあって他のことをやって電子メディアから離れて過ごすことができた。
- ・いつもより早く食が進みとてもよい。
- ・我が家では平日はゲームをしないことに決めている。
- ・子供が自分で頼らない過ごし方を考えて生活していた。
- ・ノー電子メディアが定着し、明日は何をしてすごそうかと弟と一緒に考えていた。
- ・電子メディアを使用するときに、時間に気を付けながら使用していた。

【保護者や家族の思いは・・・】

- ・家族と一緒にいる時間の過ごし方の工夫をしていきたい。
- ・家族も協力することができた。
- ・子供ががんばっている様子がうれしく感じられる。
- ・家族みんなでノーメディアをしやすい環境作りに努めた。
- ・家族で取り組むことで、大人にとってもよい日だったと思う。
- ・大人の方が電子メディアに依存していると感じた。
- ・小学校と中学校が同時に取り組んでいることで、家族みんなで声をかけてチャレンジしている。
- ・夕食のときには学校の様子を聞くようにしている。
- ・完全にメディアを遮断するのではなく、電子メディアを話の題材に活用してミズモの日に取り組んだ。
- ・テレビは家族で見ることによってコミュニケーションをとることができるので禁止にする必要はない。
- ・週1日でも大人にとってもいい日だったと思う。
- ・少し気に留めることでだいぶ子供の行動が違うように見える。
- ・メディアから少し離れた生活ができてよかった。
- ・家庭と学校が協力することで、よりよい環境をすることができた。
- ・ミズモの日の取組を家で決めることができるのはいいと思う。
- ・大人は日常的に携帯などをよく見ているので、ノー電子メディアをやっていると物足りない気もするが、会話も増えよいことだと思う。
- ・夕食中は会話も増え、早く寝ることにつながった。体を休める時間がふやせるよい取組になっている。
- ・メディアに頼らないように意識できるという点でよかったと思う。
- ・優先順位を考えられるように、しっかり睡眠もとれるように声をかけている。
- ・規則正しい生活ができ、子供ががんばって過ごしてくれていてうれしく思う。
- ・普段できないコミュニケーションがたくさんできたと思う。
- ・普段はゲームばかりしているので、時間を減らすために何と声をかけたらよいか悩む。
- ・ミズモの日以外がなかなか難しい。

■この取組は、電子メディアとの適切な関わり方や、団らんの時間の過ごし方について家族で考えていただくことをねらいとしています。

■今後も、それぞれの家族の実情にあった過ごし方や取組を皆さんで話し合い、毎週水曜日を基本としたチャレンジを継続していただきますようお願いいたします。

“ミズモの日”をよろしくお願ひします！

【こんなよいことやうれしいことが・・・】

- ・水曜日がノーメディアデー（ミズモの日）という意識付けができてきた。
- ・ミズモの日以外もメディアに触れる時間が減った。
- ・家族で会話をする大切さがわかった。
- ・水曜日がミズモの日ということが家族内でなじんできた。
- ・ノー電子メディアでなくても自分の時間を過ごせるようになってうれしく思う。
- ・ノーメディアだと子供に言われて大人も気を付けるようになり、見る時間が減った。
- ・ミズモの日を設けることによって、子供よりも大人がメディアとの接し方について考えさせられるきっかけになった。
- ・子供なので自分自身でコントロールすることは難しいが、メディアにひたりすぎると悪影響があるのだという意識をもてるようになった。
- ・ミズモの日以外も、本人が見過ぎではないかと気にするようになった。
- ・この取組をすることで、メディアにふれる時間を減らすことができています。
- ・インターネット、SNSなどでの事件で小学生も被害を受けているので、確認するのは親の責任であると考えさせられた。

【これからに向けて・・・】

- ・家族も一緒に取り組んでいきたい。
- ・ミズモの日にかかわらず、日頃からノー電子メディアを意識して過ごしていけたらいいと思う。
- ・続けていくことが大事だと思う。
- ・目を休める時間が大切だと思う。自分なりに対策を考えてみたい。
- ・もっと家族が協力しなければいけないと思う。
- ・見ないことでどんなよいことがあるか家族みんなで話し合い協力して取り組んでいきたい。
- ・家族みんなで見ない日と決めて取り組むべきだと思う。
- ・町民全体に広げていけば子供たちももっと意識できると思った。
- ・子供と一緒に過ごす時間はとても大切。これからも意識をもって取り組んでいきたい。
- ・親として、ノー電子メディアにもう少し関心を持ち、子供ともっと直接言葉のやりとりを心がけたい。
- ・どうしてもゲームをしてしまうので、もっと親の声かけが必要だと思った。
- ・テレビを見ながら広がる話題もあったので、ゲームやスマホを使う時間を減らしていきたい。
- ・親も手本になれるように、スマホやTVから離れる時間を作っていきたいと思った。
- ・これから先、電子メディアとの関わりや増えてくると思うので、使い方に関するルール（ソフトの選択、掲示板禁止など）も決めていきたい。